



http://abfb.sakura.ne.jp/
Eメール:abfb@abfb-bowling.org

ABBFニュース

全国実業団ボウリング連盟

第94号
発行
全国実業団ボウリング連盟
〒144-0052 東京都大田区蒲田5-33-4
川名ビル2F
TEL 03-3733-5888
FAX 03-3733-5893

第41回 関西ブロック親善大会 開催!!

2020/2/23 大阪府 ボウル123岸和田店

この大会は、平成9年にはじまった近畿地区親善大会を前身とし、その後平成22年に関西ブロック親善大会として第1回、その後年4回開催され、今回第41回を数える大会となりました。ABBFの明るく楽しくをモットーに、お弁当付きで飛び賞も用意し、閉会式まで盛り上がる大会となり、今回も88名が参加し熱戦が繰り広げられました。

この大会の競技方式は、2シフトに分かれて6ゲームの予選を行い、各シフト上位7名がシュートアウトでの決勝ラウンドを行う方式となっています。

閉会式において、前回優勝者の明石支部東西明日香選手の選手宣誓が行われ、予選の結果以下の方々が決勝ラウンドに進みました。



《予選》

Aシフト

第1位	松井 卓 (BOWL123・八尾)	1,499
第2位	石本 裕恵 (アルゴ・豊中)	1,404
第3位	真淵 康雄 (伊藤育興産・神戸)	1,380
第4位	北 泰弘 (エリアドゥ三田・三田)	1,350
第5位	森田 竜之助 (宏栄ボウル・姫路南)	1,345
第6位	小林 浩一 (TBP・新大阪)	1,342
第7位	松下 昭史 (HDC・神戸)	1,336

Bシフト

第1位	松岡 桂司 (野上シェル・岸和田)	1,443
第2位	東島 正彦 (アルゴ・豊中)	1,417
第3位	黒田 寿栄 (伊藤育興産・神戸)	1,401
第4位	中野 輝志 (HDC・神戸)	1,362
第5位	古西 宏至 (アルゴ・豊中)	1,352
第6位	岡村 知福 (HDC・神戸)	1,329
第7位	永井 貞夫 (KKKS・明石)	1,318

《決勝ラウンド》

決勝ラウンドは、

決勝1回戦：予選2位～7位が3人ずつでシュートアウト

決勝2回戦：予選各シフト1位と1回戦勝ち上がり2名でシュートアウト

決勝戦：2回戦各1位とワイルドカード1名で1ゲームマッチ

の方式で行われ、以下の結果となりました。

優勝 石本 裕恵(アルゴ・豊中)

準優勝 森田 竜之助(宏栄ボウル・姫路南)

第3位 古西 宏至(アルゴ・豊中)



次回第42回大会は、5月24日にエックスボウル(新大阪支部主管)で開催予定であり、他支部の方の参加も大歓迎とのことです。

(参加費:5000円 お弁当付き、飛び賞あり、決勝出場料なし)

参加希望の方は、神戸支部事務局へご連絡ください。

第41回関西ブロック親善大会 [決勝ラウンド] 2020/2/23



決勝1回戦		決勝2回戦		決勝戦	
氏名	スコア	氏名	スコア	氏名	スコア
石本 裕恵	268	石本 裕恵	268	石本 裕恵	268
松井 卓	198	松井 卓	198	松井 卓	198
森田 竜之助	235	森田 竜之助	235	森田 竜之助	235
古西 宏至	207	古西 宏至	207	古西 宏至	207
東島 正彦	202	東島 正彦	202	東島 正彦	202
黒田 寿栄	235	黒田 寿栄	235	黒田 寿栄	235
中野 輝志	207	中野 輝志	207	中野 輝志	207
永井 貞夫	207	永井 貞夫	207	永井 貞夫	207

4～6位決定戦		7～10位決定戦	
氏名	スコア	氏名	スコア
石本 裕恵	268	石本 裕恵	268
松井 卓	198	松井 卓	198
森田 竜之助	235	森田 竜之助	235
古西 宏至	207	古西 宏至	207
東島 正彦	202	東島 正彦	202
黒田 寿栄	235	黒田 寿栄	235
中野 輝志	207	中野 輝志	207
永井 貞夫	207	永井 貞夫	207

7～10位決定戦		11～14位決定戦	
氏名	スコア	氏名	スコア
石本 裕恵	268	石本 裕恵	268
松井 卓	198	松井 卓	198
森田 竜之助	235	森田 竜之助	235
古西 宏至	207	古西 宏至	207
東島 正彦	202	東島 正彦	202
黒田 寿栄	235	黒田 寿栄	235
中野 輝志	207	中野 輝志	207
永井 貞夫	207	永井 貞夫	207

第15回新潟県連合支部対抗選手権大会 開催!!

2020/2/16 ラウンドワン新潟店

この大会は、故 川口巴氏が新潟支部長をされていた2006年(平成18年)に、他県が行っていた大会を参考として、長岡支部、三条支部、五泉支部及び新潟支部の4支部の対抗戦として始まりました。

現在は、長岡支部、三条支部及び新潟支部の3支部で、各支部から1チーム4名で組み、1人6ゲーム、チーム合計24ゲームのトータルスコアで順位を決定しています。

毎年、最初に行われる大会で、今年で第15回となり、支部から24チーム計96名が参加しました。

第1回戦では、新潟支部D(堀川、江端、倉田、大脇)が2,804ピンでトップに立ちました。なかでも大脇久子選手が781ピンを打ち、チームをけん引しました。新潟支部B(竹田、佐藤く、佐藤守、酒井)が104ピン差の2,700ピンで2位、新潟支部N(山本、本間、相澤、横山)が2,632ピンで3位と続きました。

第2回戦は、各チームが1回戦よりスコアを落とす中で、新潟支部Dが再び2回戦トップの2,568ピンを打ち、首位の座を譲ることなく優勝しました。



優勝 新潟支部D 5,372ピン
(堀川、江端、倉田、大脇)
準優勝 新潟支部N 5,171ピン
(山本、本間、相澤、横山)
第3位 新潟支部B 5,088ピン
(竹田、佐藤く、佐藤守、酒井)
第4位 新潟支部M 5,067ピン
(原、磯貝聡、西山、磯貝佐)
第5位 新潟支部Q 5,052ピン
(斎藤、伊藤、高口、北川)
第6位 新潟支部F 5,032ピン
(野崎、阿部、川崎、加藤)

新潟県連合では、この支部対抗戦を皮切りに、主に各支部のフランチャイズのボウリング場を会場として、個人戦、2人、3人チーム戦を実施しています。

大会を通して支部の枠を越えて親睦を深め、趣味としてのボウリングを楽しんでいます。

2020年度 支部対抗選手権大会・ブロック選手権大会 中止

《中止判断》

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染が全国的な広がりを見せる中、2月中旬より常任理事会メンバーで検討を重ねた結果、2月21日に第46回支部対抗選手権大会(3月14～15日開催予定)の中止を決定し、青柳理事長名でホームページ(ABBFオフィシャルサイト)等に発表しました。

また3月8日には、ブロック選手権大会(4月5日～5月3日、全国10ブロックで開催予定)についても全大会の中止を決定し、各主管支部へ連絡しました。

支部対抗戦・ブロック選手権大会の中止は、東日本大震災に見舞われた2011年以来であり、大変残念ではありますが、新型コロナウイルスは感染力が高く、現時点では治療法も存在しないため、連盟として、

- ・会員と会員家族の健康を最優先する必要がある、
- ・また多数の会員を有する全国組織として、政府のイベント自粛要請(2月26日)にも応えるべきであると判断しました。

《返金等》

支部対抗選手権大会およびブロック選手権大会のエントリー費については、全額返金しますので、連盟本部および各主管支部の連絡に従って手続きをお願いいたします。

《東・西・中日本選手権大会》

なお、東・西・中日本選手権大会(6月13～14日開催予定)については、現段階では計画通り実施の方向ですが、4月末の時点で感染が終息していない場合には、改めて連盟本部で開催の可否を検討し、遅くとも5月中旬までに決定し、ホームページ(ABBFオフィシャルサイト)等に発表します。

以上、会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

各支部・団体の大会・例会等に関しましては、感染拡大防止に関して充分にご配慮頂き、万が一にもクラスター発生源となるような事態を回避して頂きますよう、重ねてお願いいたします。